



式辞を述べる小泉市長

市制施行60周年を祝い記念式典を開催

秋も深まった11月1日、市制施行60周年を祝う記念式典が国際文化会館で開催されました。式典には来賓や招待者、表彰者など約700人が出席しました。本号ではこの式典の模様を紹介します。

【地域貢献特別表彰】

本市の魅力などを広く内外に発信するなど、本市の知名度の向上やイメージアップに多大に貢献した個人・団体を表彰しました(敬称略)。

室伏広治

唐川侑己

TBSドラマ「あぼやん～走る国際空港」

映画「ハロー！純一」

西中学校陸上競技部

成田高校陸上競技部

成田高校野球部

成田高校水泳部

成田高校ダンスドリル部

成田国際高校少林寺拳法部

成田西陵高校地域生物研究部

下総高校自動車部

学校法人日栄学園日本自動車大学校

【記念式典式次第】

司会・進行：成田高校放送部

1. 開式のことば
2. 国歌斉唱
3. 市民憲章唱和
4. 市長式辞
5. 市議会議長挨拶
6. 地域貢献特別表彰
7. 来賓祝辞
8. 来賓紹介
9. 祝電披露
10. 地域貢献特別表彰受賞者演武披露
 - 成田国際高校少林寺拳法部
11. ドリームセッション
 - ～ゆめトーク～
 - 若い世代4人が将来の夢を語り合う
12. 地域貢献特別表彰受賞者演技披露
 - 成田高校ダンスドリル部

輝かしい未来に向けた新たな第一歩に

成田市長 小泉一成



000人を有する、豊かな緑と水に恵まれた、北総の中核都市として確固たる地位を確立いたしました。

昭和、平成という大きく変貌を遂げた時代の中で、幾多の困難に直面しながらも、これらを克服し、市政が発展してまいりましたのも、それぞれの時代を精一杯生き抜いてこられました市民の皆様方の深い郷土愛とたゆまぬ努力と研さんの賜物であると、心から敬意を表する次第でございます。

近年のめまぐるしく変化する社会経済環境において、羽田空港の国際化も加わり、成田市を取り巻く状況は大きく変わってきております。

このような中、本市がさらに成長し、魅力ある都市であり続けるためには、今日の成田市の礎を築き、素晴らしい「ふるさと成田」を創り上げてこられた先人の教えに学び、さらにそれらを進化させた、本市の特性を生かしたまちづくりを進める必要があると考えます。

本年5月、成田市は全国で六カ所指定された地域のうち、東京圏の一部として、千葉県内では唯一、国家戦略特別区域に指定されました。現在、成田国際空港を核とした国際医療学園都市構想および大規模MICE施設の設置などによる世界水準の

ビジネス拠点を整備するエアポート都市構想の実現に取り組んでいるところであり、これにより本市のまちづくりに新たな展望が開けるものと確信をしております。

わたしは、この市制施行60周年という記念すべき年を、成田市の輝かしい未来に向けた新たな第一歩として、市民の皆様が豊かさを実感できる街にするため、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」の次世代に誇れる空の港まち、賑わいを創出する門前まち、生涯を完結できるまちづくりの一層の推進を図り、将来に向かってさらに飛躍ができるよう取り組んでまいれる所存であります。

皆様方におかれましては、なお一層の成田市政発展のため今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日、市制施行60周年を記念し、各分野での輝かしいご功績により、本市の知名度向上、イメージアップに多大な貢献をされた方々を表彰させていただきます。皆様方のご功績はわたしたち成田市民にとりまして大きな財産となるものであり、心から敬意と感謝を表する次第であります。また、市内にはさまざまな分野で、市政の発展、市民福祉の向上のために積極的にご

活動いただいている方々が数多くおられます。こうした皆様のご尽力に対しても併せまして敬意と感謝を表する次第であります。

結びに、今日まで市勢伸展のためにご尽力いただきました先輩各位、市民の皆様を重ねて御礼申し上げますとともに、本日もご臨席を賜りました皆様方の一層のご健勝とご多幸、そして成田市の限りない発展と繁栄を心から祈念申し上げます、成田市制施行60周年記念式典の式辞といたします。

出席者全員で市民憲章を唱和





1



2



3



4

1 議会を代表し、あいさつする上田市議会議長 2 来賓・招待者・表彰者など約700人で大ホールは埋め尽くされた
3 地域貢献特別表彰を受賞したTBSドラマ「あぼやん〜走る国際空港」 4 式典の司会を務めた成田高校放送部



5



7



8



6



9

5 日本自動車大学のフォーミュラカーの展示
6 成田西陵高校地域生物研究部の「世界と日本の昆虫展」
7 成田高校ダンスドリル部の華やかな演技
8 成田国際高校少林寺拳法部の実戦さながらの演武
9 下総高校自動車部のエコカーの展示
10 「広報なりた」で成田市の60年を振り返る(協力:米屋株式会社)



10

ドリームセッション～ゆめトーク～

若い世代に将来に向けた夢を語ってもらうパネルディスカッションが小泉市長を交えて行われ、出演した4人はそれぞれの夢を語ってくれました。



^{ともや}
近藤 智椰さん
(国士館大学4年生)
成田高校野球部OB、第92回全国高等学校野球選手権大会ベスト4

父に連れられ成田高校の試合を見て、カッコいいと思って始めた野球。教員になって野球を教えたいと考えています。まずは授業や生活指導、生徒指導ができる教員になり、それから部活でも高みを目指していければと思います。



渡邊 亮太さん
(日本自動車大学校4年生)
第12回全日本学生フォーミュラ大会総合第9位

全日本学生フォーミュラ大会ではチームをまとめる役割をしました。チームメイトとの衝突もありましたが、結果が出た時はうれしさと、体の内側から込み上げてくるものがありました。大会で得た経験を来年からの社会人生活で役立てたいです。



^{ひかる}
廣瀬 輝さん
(成田国際高校2年生)
成田国際高校少林寺拳法部部長

先輩たちの演武や大会で優勝している姿を見て、自分もそうなりたいと思い、高校入学後に少林寺拳法を志しました。ことしのインターハイで優勝した先輩たちに続けるよう、わたしも来年のインターハイで優勝を狙っていきたいと思います。



^{すみれ}
安田 堇さん
(成田高校1年生)
第30回成田山全国競書大会内閣総理大臣賞受賞

日中友好少年少女書道交流団として中国を訪問して、中国の方々の素晴らしい作品を間近で見ることができ、とても良い刺激になりました。この経験を生かして自分が大好きな書道をずっと続けられるような仕事に就きたいと思っています。